

# りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙  
第168号  
12  
16. .12

表紙

・そばの実“地産100%”の『戸隠そば』をめざして  
・購読者募集!『生活と自治』

P3

・活動報告『「原州協同社会経済ネットワーク」交流&研修受け入れ報告』『くらし見直し講演会』『さつまいも掘りバーベキュー』  
・職員紹介・消費材紹介

P2

・『竜おうみ米』を食べる仲間が増えることで、関西の食料基地づくりがもっともっと広がる

P4

・私たちのエネルギーを考える!  
・エコロ給付状況報告・子育てひろば案内  
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

## そばの実“地産100%”の『戸隠そば』をめざして

清浄な水・水はけの良い火山灰の土・高原特有の霧・昼夜の寒暖の差など、古来よりそばの実の栽培に最適な条件がそろっていて、そばの産地として有名な長野県戸隠の地で、創業60年以上の歴史をもつ「株式会社おびなた」。消費材の『戸隠そば』や『茶そば』の生産者です。信州訪問交流の際に社長の大日方大治さんに、日本のそば原料の現状と未来への展望について伺いました。

(聞き手:消費委員会 堺市街地地域理事 池田 佳子)



株式会社  
代表取締役社長  
おびなた  
**大日方大治**さん

### そばの実の自給率は下降線の一途だった

池田 国内で流通しているそばは、原料のほとんどを輸入に頼っていると聞いたことがあります。国内自給や生産情勢の現状について、生産者としてどう思われますか。

大日方 日本のおそば消費量は、そば焼酎などへの使用も含めて年間12〜13万トンとされています。しかし、そばの実の自給率はわずか35%。残り65%は輸入に頼っており、中国産が圧倒的な割合を占めています。しかしながら、昨今、中国産のそばの実の価格が高騰してきています。代替として、ロシア・ウクライナ産のそばの実の輸入も検討されていますが、品質的に日本人の嗜好に合わないなどの問題があります。

長野県では古来よりそばの実の栽培が盛んでしたが、以前はそばしか育たなかった高地も土地改良により、稲作ができるようになるなど、収入面においてより魅力的な作物の栽培へと移行し、長野県産そばの実の栽培は下降線をたどる一方でした。

### 魅力的な農業への手助けを

池田 「おびなた」で何か取り組まれていることを教えてください。

大日方 そばは栄養価が高く、カ

ロリーが低い健康食材ですが、中でも戸隠は本当に品質の良いそばの栽培地です。消費材として供給している「おびなた」のそば類は国産のそばの実を使用しており、現在は北海道産そばの実も導入して製造していますが、「全量長野県産を使用した地産」を夢に、1990年から直営農場での栽培を開始しました。また農業生産法人「蕎麦の国」を設立し、社員全員が栽培に関わり栽培面積も25〜30ヘクタールまで広がってきています。

池田 工場内の清掃や剪定のみならず、イノシシ対策に檻を仕掛ける免許も取得されるなど、社長自ら率先して「おびなた」や「蕎麦の国」の経営に取り組みされているとお聞きしました。そば農家への援農にも取り組まれているそうですね。

大日方 雑草よりも早く育ち、農薬による消毒なども不要で、休耕作物としても最適なそば。耕耘、種まきから収穫まで機械でおこなうことができるので、収入面でも魅力的な農業となれば、高齢の方や個人単位での就労も増えてきますよね。しかし、農機具などの設備投資は個人単位ではなかなか難しいものです。そこで、農機具の貸し出しをすることで援農しています。ここ4〜5年前からそばの実の栽培収穫に対する補助金も出るようになり、少しずつそば農家も増えてきました。

また、筑波大学で「そばのシンポジウム」が開かれています。現在「自家受粉可能な種子への改良」を依頼しています。そばは、ミツバチや昆虫に手伝わなくても近この地のミツバチも減ってきて

いて受粉がなかなかうまくいかないのが現状です。自家受粉できるような種子が改良されれば、就労する農家がさらに増えるのでは、と夢を託しています。

### 35%だった自給率も52%まで回復

大日方 20〜30年前は20%だったそばの実の自給率も、やっと35%を越えるまで上がってきました。私の同級生が戸隠神社の近くでそばレストランや忍者村を経営しています。戸隠の地で育った人たちの手で、この地を大切に耕しながら共に生きています。

私たちが組合員の方との交流の機会を大切にしているのは、生活クラブの考え方が好きだからです。素性が確かで品質にも自信が持てる、戸隠産そばの栽培がさらに拡がり、そばの実の国内自給率向上に貢献できればと、これからも社員一丸となって取り組んでいきます。

池田 今回の訪問で、そばが栄養面でも農作物としても大変優れた作物であることを実感しました。組合員との交流を大切に育んでこられた「おびなた」によって作られた国産原料100%のおいしいおそばを、今まで以上にありがたくいただきます。



## 購読者募集!『生活と自治』

『生活と自治』は、生活クラブ連合会が、情報事業のひとつとして発行する「協同組合による生活者の新聞」です。

生活者のための情報も共同購入するという趣旨から、おおぜいの組合員に購読していただいています。

購読料は毎月100円です。共同購入代金と一緒に口座引き落としとなります。

(現在店舗組合員の方は購読できません。)

2017年2月号の掲載予定

### 特集 若者の悩み ～若者をとりまく課題と支援政策の方向性

- \*ブラックバイトなどの事例
- \*奨学金問題「世界の奨学金制度はどうなってるの?」
- \*2016年度版 子ども・若者白書では
- \*連載 田口ランディ「暮らしの味わい」/ 枝元なほみ「えだもんの目」



お申込み・お問合せ エスコープ大阪 理事会事務局 ☎072-293-4660



## どうして主産地形成に取り組むの？

日本の食料自給率はカロリーベースで40%。不測の事態で食料の輸入がストップすれば必要カロリーの4割程度しかまかなえないということです。油脂類や畜産物の消費が増え、食用油の原料や畜産飼料となる穀物のほとんどを輸入に頼っています。TPP(環太平洋経済連携協定)は成立しないようですが、新たな自由貿易協定が出てきた場合、いのちの源である食の安心・安全が揺らぎかねません。2013年産米から、生活クラブ関西6生協

では、耕作地の水田化率が全国第2位で都市部に近い米どころである滋賀県の「JAグリーン近江」管内で、『竜おうみ米』を主軸に関西6生協の食料基地づくり(主産地形成)を、生産者の「JAグリーン近江・竜王米稲作経営者研究会」と共にすすめています。今後は大豆やもち米と同様に、食用油の原料となるナタネや、畜産農家で活用する飼料用米、加工食品の原料野菜の栽培、農業で使うエネルギーの自給などにも挑戦していきたいと考えています。



## 地域農業のリーダー的存在の『竜おうみ米』生産者

『竜おうみ米』の生産者は「JAグリーン近江・竜王町稲作経営者研究会」の皆さんです。「竜王町の農業を衰退させず持続させていこう」、「町の農業のリーダー、お手本になるように」と1992年に14人の有志が立ち上げた会です。現在は16名で私たちの『竜おうみ米』を作っています。竜王町では滋賀県産

米の約3分の1を栽培しており、竜王町の水稲圃場の約2割が稲研の圃場です。「むすびつき米」(種をまくときから食べてもらう人がわかっているお米)の比率を高めようと、関西6生協の組合員への供給や、地元の幼稚園や小学校、中学校の給食への導入に力を入れています。



## 「あっさりしていて美味しい！」と評判の『竜おうみ米』

お米の品種は3種類。お届け時期によって品種が変わります。いずれも病害虫防除なしで、除草剤1回(3成分以内)のみ使用しています。食味と安心・安全にこだわったお米で、そのうえ手頃な価格が魅力です。

### ①みずかがみ

コシヒカリと同じく食味に優れています。

### ②キヌヒカリ

コシヒカリ系統の品種。食味の良さはもちろん炊いた時の輝きが絹に似ているところからキヌヒカリと命名されました。

### ③秋の詩

滋賀県生まれのお米。粒が大きく粘りが強いがコシヒカリよりあっさりした食感です。

### お米豆知識

#### お米はとっても優秀な名脇役

炭水化物のイメージが強いお米ですが、実は鉄分、カルシウム、食物繊維、亜鉛などの栄養成分のみならず、体内ではつくれない必須アミノ酸も含まれています! どんなお料理とも合う、まさに名脇役です!!

定期登録  
できます



もう食べました?

# 『竜おうみ米』を 食べる仲間が増えることで、 関西の食料基地づくりが もっともっと広がる

関西6生協では、2013年度より米の主産地として滋賀県竜王町の『竜おうみ米』の推進を始めました。このお米の生産地である竜王町を軸に農業や化学肥料を減らした環境保全型農業に取り組み、地域循環型農業(耕畜連携・地域内循環)にも挑戦していきたいと考えています。次世代にわたって食べ続けていける産地作り「主産地形成」をすすめています。

## 竜おうみ米の産地を訪問し、 新米の作柄を確認しました

齊藤 真由美(消費委員)



9月19日(月)、台風の影響で稲刈り見学はできませんでしたが、新米の等級検査と施設を見学しました。「JAグリーン近江」竜王支店に到着した時、すでにJA職員の方が総出で生産者から運び込まれた新米を1俵ずつ丁寧に検査していました。通年15度に温度管理された低温倉庫には検

査後の新米が積み上げられていて、その中から関西の生活クラブ組合員の元に届くお米を見つけた時には感慨深いものがありました。JAグリーン近江の西村さんからは、「今年もおいしいお米ができた」という言葉を聞くことができ、新米への期待が膨らみました。倉庫の中には、まだ食べきれない私たちのお米も積み上げられており、あとこれだけの量を食べないと新米に切り替わらないということも実感できました。

その後、生産者の竹山さんの倉庫に移動し、設備の見学をさせて頂きました。倉庫には巨大な乾燥機が4台あり、1台で60石(大きい田んぼ2枚分)ぐらい乾燥できるそうです。穀物の水分は、貯蔵性や品質に影響します。収穫したお米は20〜30%の水分があり非常に変質しやすいので、刈り取ってすぐに24時間かけて15%くらいまで乾燥させます。検査機器など思いのほかハイテクな技術を駆使していることに驚きを隠せませんでした。

今年(2016年度産)の作柄は、天候不順で少し心配はしましたが、例年通りのおいしさと収穫量が確保出来たようです。食卓に並ぶのが今から楽しみです。

施設見学の後には、「妹背の里」に移動し、「バーベキュー」炊き立ての『竜おうみ米』と「(株)ウインナークラブ」の豚肉をいただきながら交流をしました。

生産者と組合員の交流を重ねることで、『竜おうみ米』や産地に愛着を持ってもらえるように、これからも産地との交流を大切にしていきたいと思いました。

## 『竜おうみ米』を食べて産地をつくろう

1〜3月の期間に、地域委員会では『竜おうみ米』を使った料理講習会や試食会の開催を予定しています。

また、3月には『竜おうみ米』の1kgお試し注文企画を、生協のお米を利用したことがない方を中心に取り組みます。

生活クラブ関西6生協の食べる力を結集し、2016年度産米は5,173俵の消費を目指します。



JAグリーン近江・竜王支店にて新米の検査を見学

### 「原州協同社会経済ネットワーク」交流 & 研修受け入れ報告

10月30日(日) ~ 11月3日(水)

理事会 岡 公美



今年度は受け入れの年で、エスコープ大阪の運動と事業の紹介と原州の運動の共有を行いました。原州としては新入職員研修の位置づけもあり、15名の参加者の内10代、30代が6名で、一番若い方は19歳でした。

施設を作ったりして自分たちの生業と環境を守っています。現在、大豆を栽培して味噌や豆腐を製造したり、体験農場や散歩コースを整備したりしています。行政からの助成金も活用し福祉施設も建設予定で、「よりあい金剛」を見学して参考になった。これからの美しい九罫里を守っていききたいとおっしゃっていました。また、鉢ヶ峰の自然を守ろうと活動した話では特に「泉北自然マップ」や「えはがきBOOK」を作って販売したことや、貴重な植物や生き物の保護についてなどに関心を持たれていました。

### 国をまたいだ運動の仲間たち②

昨年訪問した洪川九罫里(ホンチョンクマンリ)村落(マウル)企業からは代表のパン・キョンスンさんと村長のオ・フンギさんが参加されました。この団体は原州と協力関係を持つ組織です。原州から車で1時間ほどの距離にある洪川郡でゴルフ場建設反対運動を13年間続けておられます。昨年私たちが訪問した時に鉢ヶ峰(堺市南区)のゴルフ場建設反対運動について触れたことをきっかけに訪問が実現しました。洪川では座り込みを1年半続け、その後環境団体が合流し組織的な反対運動をすすめる、ゴルフ場建設で村を豊かにするのではなく、集落をあげて協同で

また、原州から参加した若い方々からは「生協組合員たちは地域社会に対する意識が高いことに驚いた。より健康な地域づくりのために努力したい」「自分たちのことだけを考えて協同組合をつくつたが、協同組合が地域の助けになることを知り、大切な経験ができた。」など、学ぶことが多く韓国に戻ってから共有と実践をしていきたい、人と人が交流することの意味を肌で感じることもできた良い機会であったとの声があり、交流の大切さをあらためて感じました。



### 大きなさつまいもを収穫し、生産者と交流しました。

南河内地域 さつまいも掘りバーベキュー 10月16日(日) (堺市中区)

南河内地域理事 梶川 愛



組合員とその家族を合わせて、総勢19名が参加しました。「菜食ファーム」の大神さんの畑は堺市中区東山にあり、エスコープ大阪本部のすぐ近くです。みなさんは「旬菜セット」をご存知でしょうか。「菜食ファーム」の生産者が地元の畑からこだわりの

安全な旬の野菜を定期的に届けてくれる、私のお気に入りの消費材のひとつです。どうして安全だと思われているかというと、市販されている減農薬を謳った「大阪エコ農産物」よりさらに2分の1以下または無農薬で、有機肥料を使い厳しい基準で栽培しており、また作付量や栽培方法、規格などについて生産者と組合員が話し合っていて一緒に取り組んでいるからです。このように栽培された野菜は栄養価も高い

と言われており、味も色も濃くともおいしい野菜です。この地場野菜を見過ごしていた方は、いままさにご登録をオススメします。 今回の企画で使った『旬菜ファミリーセット』に入っていた小松菜と水菜は大鍋でお味噌汁に使い、ピーマンと大町さんの畑で採れたかぼちゃやなす、実験的に作付けしたという白なすはバーベキューの材料として炭火で焼きました。みんな掘ったさつまいもは濡れた新聞

紙とアルミホイルに巻いて焼きいもにしました。あとは「懶ウインナークラブ」の豚肉・ウインナー、「丹精國鶏」も、みんなで堪能しました。大町さんの作った鳴門金時はすごく大きくておいしかったです。掘ったさつまいもはそれぞれ持ち帰り、私は家で子どもたちと一緒にスイートポテトを作りました。 また来年も同じ企画をと考えていますので、是非みなさんご参加ください。菜食ファームの畑に一緒に行きましょう。



福祉委員会 暮らし見直し講演会 9~10月 4カ所開催

河内長野・大阪狭山地域理事 浦 和子

### 共済加入と同じように「もしも…」の備えを。



「くらし見直し講演会」は、「日本赤十字社」と「CO・OP共済」がタイアップした企画で、CO・OP共済の補助を受けて行なわれます。共済加入者が毎月支払っている掛金が、このような形で還元されています。今年度は4カ所で開催されました。

を拭いてから、体温計の先は脇のくぼみの中央に納まるように、腕が離れないように脇の下斜めに挟むという正しい計り方を教えてもらいました。新しい知識を得ることで、安心してお子さんやお孫さんと接する事ができると思います。 クレオ大阪中央とファイインプラザ大阪、和泉市立人権文化センターで行なわれた「こども救急時の対応学習会」は、実際に人形を使って心肺蘇生の方法やAEDの使い方を体験し、みなさん熱心に取り組んでいました。「備えあれば憂いなし」というとおり、共済に加入することと同じように、このよう



### 話題の消費材登場 わが家のグルメ公認

私のおすすめは「かつお細けずり30g」です。この消費材は、私の家で飼っている猫のエサのトッピングに使ってみようと思ったのが注文のきっかけです。今では、わが家の猫がえらく気に入っており、袋を開けて3日間執拗におねだりをしてきます。そのおかげで、市販のかつお節を与えても、匂いを嗅いだ後に鼻息でフンッと吹き飛ばし、「これじゃない」と言うような顔で私の顔を見つめてきます。



かつお細けずり30g 235円(税込254円) みえぎよれん販売 薪で焙乾しカビ付けした枯れ節を約3mm幅に、チャック袋入り小容量タイプ。おひたしやおむすびなどに。

が良く、しつかりとした味わいがあります。その他には煮物やうどんの出汁にも使用。また、ご飯の上のせで、醤油を少量かければご飯のお供にもなります。チャック袋入りなので保存にも便利です。 共同購入フロア職員 川口 元氣

### 組合員と組合員、組合員と生産者の架け橋になれたら...

職員さんが自己紹介!!



下條 真也 (36歳)

エスコープ大阪在籍年数 3年6ヵ月 [共同購入フロア 堺支所]

組合員のみなさんこんにちは、いつもありがとうございます。私はエスコープ大阪の職員の中でも異色な職歴を持つひとりです。若い頃は街のケーキ屋やホテルでお菓子作りをしていました。現在、堺支所での私の役割は「何でも屋」です。配達チラシ作り、組合員拡大、働きやすい環境作りなど。基本的には、またエスコープ大阪に加入されていない方の所へ行って、試食品を渡しながら説明をする組合員拡大です。北は大阪市東成区から南は

泉佐野市まで、日々走り回っています。街で見かけたらぜひ、声をかけてください。消費材の説明をする時にはある程度自分で勉強した知識も必要ですが、組合員のみなさんから教えていただいた「生」の声や、生産者訪問に行った時に直接見たこと、その時知った生産者の想いがとても重要です。エスコープ大阪では、1年を通していろいろな地域の催しもの、産地訪問や生産者との交流をしています。職員も参加する機会があるので、お会いできることがあると思います。ぜひ参加してみてください。普通の生活ではできない体験ができるはずですよ。 これからも組合員と組合員、組合員と生産者の架け橋となれるよう日々努力を重ねていきますので、よろしくお願ひします。

## 私たちのエネルギーを考える!



# 2013年からすすめられている「放射線出前授業」の中身が明らかに



9月末に、堺市内の小学校で「放射線出前授業」が行われました。この授業は、文科省から出前授業事業を委託されている「一般社団法人 エネルギー・環境理科教育推進研究所」(エネ理研)が全国の小中高校で行っている授業で、エネ理研のHPには「科学的根拠に基づいて、自ら考え、判断し、行動できる力を育てる活動を推進します」とあります。

堺市の小学校で行なわれた授業では、線量計を使ってカリウムを含んだ肥料を測定し、放射線が出ていることを確認し「みんなはこれを食物を通じて体内に入れてる。よかったね。」と話したり、鉄板が放射線を減らすことを実験した後「放射線は鉄とコンクリートは通さない。」とし、「原発が爆発したら、鉄板だらけの服を着ればいい。」などの発言があり、全く科学的ではなく、「子どもたちに自ら考える力を育てるような授業ではないと感じたと、参観した保護者の情報から分かりました。保護者の一人からは、「子どもたちに受けない話をしながら、このように親の知らないところで明らかに一つの方向に持って行くような授業と感じましたし、ある意味怖くもありました。」との声もありました。保護者から要望書が出された事を問題視した市議会議員が市議会を取り上げ、市

教委はエネ理研の出前授業について「非科学的で不適切」と認め、予定されていた堺市内の学校での出前授業は(各学校長の判断で)中止されることとなりました。学校側も「子どもたちに放射線が安全であるかのような誤解を与えたおそれがある」と認め、今学期中に補完する授業の実施を表明しました。文科省もエネ理研に対し、今回の授業が「誤解を生む」とし改善を求めています。

今後この小学校の保護者たちは、授業がどのように行なわれるか、今回の問題が担当講師だけの責任で済まされようとしないうか、「授業には問題がなかった」とされている他の小学校でも同様に授業が行なわれることを要求していけるそうです。このような授業が2013年度より全国で進められていることに対しエスコープ大阪としても問題であると考えています。生活クラブグループ内での共有をすすめ、不適切な授業内容の修正を求めていきたいと思います。

### 第6回 理事会報告 <11月18日>

#### 【10月度決算報告】

- 供給高 1億9,648万円 (前年同月比101.58%)
- 組合員数 18,496名(前月比44)
- 一人あたりの出資金 80,417円

#### 【10月の放射能検査結果】

10月は連合消費材717検体の放射能検査、エスコープ大阪独自の消費材については6検体放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

#### 【協議事項】

- ①2016年度年間取り組み「地域組織メンバーを集める」について提案があり、協議し、確認しました。
- ②第4四半期電おうみ米の取り組みについて提案があり、協議し、確認しました。
- ③2017年度のGMナタネ自主調査活動について提案があり、協議し、確認しました。
- ④「名古屋・クアラ Lumpur 補足議定書に対応した国内措置のあり方について(答申案)」に意見提出する旨の提案があり、協議し、確認しました。
- ⑤民衆交易企画の追加予算について提案があり、協議し、確認しました。

#### 【報告承認】

- ①大阪市南・中河内地域 託児の追加経費支出について提案があり、確認しました。

#### 編集後記

2016年も残りわずかですね。今年の配達は通常配達曜日で変わりなく配達されますので安心ですね。年始も来年は遅く、1/9(月)より通常配達が始まります。もし、お買い物忘れなどありましたら城山台DOへお越し下さい。年末年始の営業時間は下記のようにしております。

2016年も機関紙「りっぷる」をご愛読いただき、ありがとうございました。来年もより良い内容にできるようにがんばりますので宜しくお願い致します。(H)

#### 城山台DO 年末年始の営業時間

営業日	営業時間
12/26(月)～12/30(金)	10:00～19:00
12/31(土)	10:00～13:00
1/1(日)～1/8(日)	休み
1/9(月)	11:00～19:00

発行:生活協同組合エスコープ大阪  
制作:W.Co パックプランニング

**生活協同組合エスコープ大阪**  
〒590-0151 堺市南区小代727  
TEL. 072-293-4660  
FAX. 072-341-0022  
http://s-osaka.seikatsuclub.coop/

## おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

#### 166号表紙

「地域のワーカーズと共に参加型地域福祉をすすめる」を読んで 紙面モニター Aさん

私の住んでいる地域も、高齢化が進んでいます。ご高齢の方々のパワーを感じる反面、ひと昔前に比べると、社会との関わりが減ってきていて、活躍の場がもっとあればと思うこともあります。ワーカーズの活動が広まるといいですね。

#### 166号2面

「国産鶏種『はりま』を広げよう!」を読んで

紙面モニター Bさん

国産鶏種「はりま」は3代前まで日本育ち、飼育法や安全性まで確かめることができる貴重な鶏肉です。年間200万羽の消費があって維持できる場所、現在は生活クラブグループで約160万羽の供給とのこと。味のある安全でおいしい「はりま」をもっと広めていくべきですね。



### エッコロ制度 11月度報告 加入者数 1028名

組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受取ケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	1件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	1件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	0件



### エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
1月12日(木) 10:00～12:00	ソフィア堺 (堺市街地地域)
1月はお休み	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
1月17日(火) 10:00～12:00	さつき野東集会所 (南河内地域)
1月はお休み	岬町望海坂第1集会所 (泉州地域)
1月16日(月) 10:00～12:00	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)
1月10日(火) 10:00～12:00	竹城台ほーぷサロン (泉北NT地域)

\*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK  
\*組合員でないお友達との参加もOK \*事前申し込みは不要  
\*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

## Ripple おたよりネット

理事会事務局行き  
168号(2016.12.12)

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

(ペンネームOK)

●お名前

●地域名

●班名

●組合員コード